

## 【事例 H29-49】千葉県

## PEEC（救急医療における精神症状評価と初期診療）研修事業

【概要】精神科的問題を有する身体救急患者に対して標準的な初期評価・初期診療を行うために、救急医や救急救命士等が、必要な医学的知識、接遇法、入院管理、リソースの有効活用、外来フォローアップへのつなぎ方等のスキルを身につけることを目的とする。日本臨床救急医学会の協力のもと、医療スタッフや救急隊員等の専門職で少人数グループを作り、ファシリテーター等の学会認定スタッフの進行により具体的な症例を通してディスカッションを行う。

## 【大綱の分類】

2. 国民一人ひとりの気づきと見守りを促す
4. 自殺に係る人材の確保、養成及び資質の向上を図る
5. 心の健康を支援する環境の整備と心の健康づくりを推進する
6. 適切な精神保健医療福祉サービスを受けられるようにする
8. 自殺未遂者の再度の自殺企図を防ぐ

## 【政策パッケージ分類】

- 基本 1. 地域におけるネットワークの強化  
 基本 2-1) さまざまな職種を対象とする研修  
 基本 2-5) 寄り添いながら伴走型支援を担う人材の育成  
 基本 4-2) 自殺未遂者支援等への支援

## 【事業実施年度】2018 年度

【事業予算】執行額：382,207 円（予算額：840,000 円）

## 【利 点】

- ▼ 救急医療の現場において、精神科医がいない状況での精神科的問題を有する身体救急患者（自殺企図者等）への“標準的”初期評価及び初期診療が出来るようになる。
- ▼ 事前に困難事例を症例を通してディスカッションするため、急遽現場で問題が起きても慌てずに対応に当たれる。
- ▼ 興奮して不適切な発言をする自殺企図者に対し、適切な接し方やコミュニケーションを図る方法を学ぶことが出来る。

## 【実施に至るまで】

**PEEC コースを実施する背景・理由等**

- ① 自殺企図者が救急医療機関に搬送された際に、救急医療従事者が身体科治療だけではなく、精神科分野においても適切な対応方法を学ぶことで、再企図防止に期待できると判断したため。
- ② 身体科治療後、救急患者の状況に応じて精神科へ繋げる必要があることの必要性を周知するため。

**計画を立てる上での工夫**

- ① 千葉県 PEEC 研修のコーディネーター（千葉県内の精神科医）を中心に連絡を取り合い各種準備を行っていく。

- ② ファシリテーター及びアシスタントの募集は、コーディネーター等に依頼し集めてもらう。
- ③ PEEC 研修受講者については、職種が偏らないように編成する。
- ④ 研修中は少人数ブースを複数作りディスカッションを実施するため、隣の話し声等が聞こえないよう広い会場を用意するなど配慮している。

### 具体的な内容

#### ▼ 受講者募集

- ・開催通知を作成し、県内救急医療機関等に通知を出す。
- ・PEEC コースを監修している日本臨床救急医学会へ開催申請及び募集掲示板を設置依頼。
- ・県 HP にも PEEC コース研修の募集案内を掲示。（当選結果についてメールで返信）

#### ▼ 当日実施体制

- ・1 ブースあたりファシリテーター1 名以上（医師）、アシスタント 2 名以上（看護師等）、コースディレクター1 名（医師）、全体アシスタント 1 名（看護師等）等を配置。
- ・受講生は 1 ブースあたり 8 名+1 名（キャンセルを考慮）の 9 名を 3 ブース程度設置。

#### ▼ 必要機材等

- ・各ブースにプロジェクター、スクリーン、ホワイトボード、PC が 1 つずつ必要。
- ・全体講義用で、プロジェクター、スクリーン、PC、マイクが 1 つ必要。
- ・各症例映像 DVD、講義資料、修了証など。

#### ▼ 当日の流れ

- ・PEEC コース開催の 2 時間前に会場にて機材などセッティング（その後は進捗管理）。
- ・PEEC コース開始後は以下のとおりスタッフに依頼。  
 ※ 映像視聴⇒症状評価⇒対応検討⇒治療検討⇒帰宅までにしておくことの検討⇒最後にアシスタントがディスカッションの内容をまとめて発表。
- ・PEEC コース終了後、スタッフが反省会を実施し、撤収作業。

### 【成 果】※受講生アンケート内容参照

#### ▼ PEEC 研修の参加者 27 名参加※一部抜粋

コース内容難易度	適切	少し難しい
	23 名	3 名
他の人に勧めるか	強く進める	勧める
	9 名	15 名
各症例 DVD 視聴	とても有効	少し有効
	24 名	2 名

- ▼ 多職種の意見が飛び交うため、様々な検討が出来て有意義だったとのこと。
- ▼ 他病院での対応方法を知ることが出来、参考になったとのこと。等

### 【課 題】

- ▼ ファシリテーター及びスタッフの人数確保が難しいため検討する余地がある。
- ▼ 応募者数が多く、1 度に受講できる人数に限りがあるため、枠を広げるなど検討が必要。
- ▼ 受講生の募集において医師の参加率が低い為、周知方法を徹底する必要がある。
- ▼ PEEC 研修が開催可能な会場を探しておく必要がある。

【事業種別】	研修実施（県内医療従事者等対象）
【準備期間】	120 日程度
【人数】	スタッフ 15 名程度、職員 5 名（担当者 1 名、補助者 4 名）
【人口規模】	6,300,000 人程度
【財政規模】	1,698,568,000,000 円
【自治体負担率】	0%（10/10 補助）
【事業対象】	県内医療従事者及び県内救急隊員等
【支援対象】	自殺未遂者等
【委託の有無】	無
【実施主体・問合せ先】	千葉県健康づくり支援課 自殺対策班 TEL：043（223）2668 Mail:kokoken@mz.pref.chiba.lg.jp

【参考資料・文献】

- (ア) [日本臨床救急医学会HP](#)
- (イ) [千葉県HP](#)